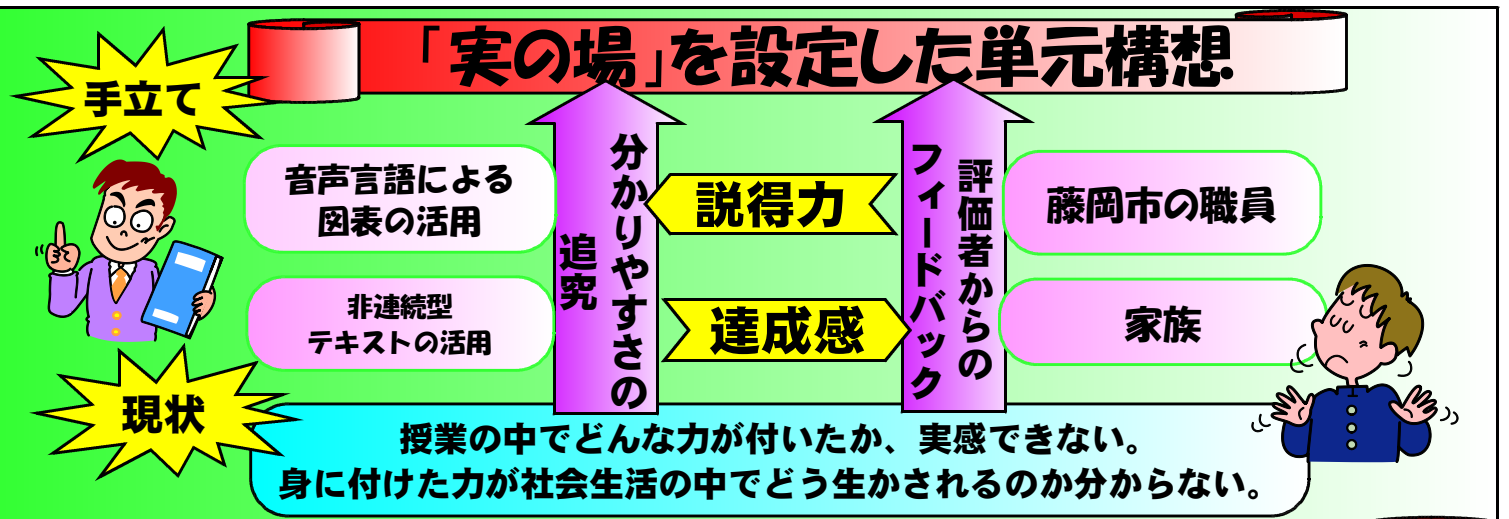


身に付けた力が社会生活で役立つ実感を持てる生徒の育成

～単元を貫く言語活動に「実の場」を設定して～

国語班 庄山 武（中学校教諭）



実践 1 修学旅行新聞を作ろう！ ～修学旅行の楽しさ、感動を家族に伝える～

図や写真を活用した新聞

説得力

<評価>

図や写真を使って分かりやすく説明できていますか？

＜新聞を読んだ感想や我が子へのメッセージをお願いします。＞
 ・一生に一度の修学旅行は楽しいおみやげだけでした。本人からの話でも伝わりましたが、この新聞からも十分伝わりました。（中略）記事の一つ一つを読むと「うん、うん」とうなづきながら思い出を共感出来ました。
 ・文字で伝えるにくい部分を表、写真を上手に使い表現されていました。新聞を作る難しさではなく、文章を的確に伝える面白さに触れることができた記事だと感じました。

達成感

良好でできている

学旅行新聞評価シート

組 番氏名

「修学旅行新聞を作る一歩目に感動しを伝える」と題し、名前の漢字ドーム、年和資料館見学して感じたこと、京都の修学旅行の思い出を伝える。各組の中で得意な生徒の感動の瞬間を写真とし、写真と文章を組み合わせ、感動の瞬間を伝える。生徒の書いた新聞を読み、感動の瞬間を伝える。生徒の書いた新聞を読み、感動の瞬間を伝える。生徒の書いた新聞を読み、感動の瞬間を伝える。

家族からのフィードバック

実践 2 藤岡市を元気にするプロジェクトを提案しよう！ ～構成の工夫や資料を活用した説得力ある発表を通して～

資料や構成を工夫したプレゼンテーション

説得力

資料の活用

構成の工夫

達成感

構成のイメージ

プレゼンの基本がしっかりできていました。みな実現可能な提案で非常に良かったです。

藤岡市職員からのフィードバック

成果

「実の場」を設定したことで、生徒はゴールを目指し、意欲的に学習に取り組んだ。説得力を増すためには図や写真等を活用することや構成を工夫することを学び、社会に役立つ言語能力を身に付けた。また、家族や市役所職員から評価されることで身に付けた力が社会で役立つことを実感できた。

課題

「実の場」のみに意識が偏ってしまった生徒も見られたので、単元でどんな力を身に付けるのかを教師だけでなく、生徒にも常に意識させることが必要である。また評価者によるフィードバックまで授業で行うので、年間を通しての計画的な時数管理が必要である。